

令和7年12月17日(水) 19:00～ 保内小学校 I 統合検討会 (於: 荒川地区公民館)

参加者: 小学校PTA役員14名・保育園保護者会役員3名・学校運営協議会委員3名・区長会

代表: 4名・学校2名 合計26名(市教委除く)

市教委 それでは定刻になりましたので、始めさせていただきたいと思います。皆様こんばんは。本日は大変お忙しいところ、貴重なお時間をいただきまして大変ありがとうございます。どうぞよろしくお願ひいたします。それでは教育長からご挨拶の方よろしくお願ひいたします。

教育長 皆様こんばんは。今日は夜分お疲れのところ、そして道足の悪い中、おいでいただきましてありがとうございます。ご案内させていただいたところにお示しさせてもらいましたけれども、前回1回目のこの保内小学校の統合検討会では、2段階目にあたる金屋小学校との合同統合検討会に進むことの合意形成をいただいたんですけれども、金屋小学校さんの方で統合検討会を2回開かせてもらいましたが、令和10年度の学校統合に関する合意形成をいただくことができませんでした。

それで、この後、その経緯についてお話させていただきますので、どうか、金屋小学校のそういう考えに対して、保内小学校側の方は、学校統合についてどうお考えなのか、再度、たくさんご意見をいただいて、今後の両校の統合についてどうあればいいのか、方向性をお決めいただきたくご案内差し上げました。どうかよろしくお願ひいたします。

市教委 ありがとうございます。

まず、今日の資料の確認をさせていただきたいと思います。先ほど、受付で配付させていただきましたホチキス止めのものになります。1枚目に今日の次第、そして2枚目から、資料1から資料5の順にとじてあります。資料1は金屋小学校統合検討会での結論、資料2は、荒川地域の児童数の推移、資料3が、第2次望ましい教育環境整備計画の内容、裏面に統合の進め方についての抜粋です。資料4が、統合までのスケジュール、資料5が統合決定までのプロセスになります。

それでは次第に沿って進めたいと思います。次第3、これまでの経過及び今後の対応についてです。前回、8月20日に行われた保内小学校統合検討会では、金屋小学校と保内小学校が令和10年度に統合することとして、その次のステップである、合同統合検討会に進むことについて了承していただきました。その後、9月1日に金屋小学校さんの方の統合検討会が行われました。そこで、市教委の方から、保内小学校の検討会で、保内小学校の皆さんには、令和10年度に統合することとして、次の合同統合検討会に進むことを了承いただいたこと、また小学校の皆さんからは、金屋小学校さんが不安にならないように、金屋小学校と保内小学校のそれぞれの良さを認識する機会を作っていく、できるだけお互いの交流を深めていく、その先に答えを出す機会があると良いのではないかということをおっしゃっていましたとお伝えしてきました。そして、金屋小学校の皆さんは、統合についてはやむを得ない、いずれかの時期に金屋小学校にとっても、保内小学校にとっても、統合が必要なんじゃないかという意見が多かったのですが、だけれども、学校がなくなってしまうと、地域が衰退してしまうのではないかという不安が強いのかなという印象でした。お手元の資料の資料1の方をお願ひいたします。金屋小学校統合検討会での結論になりますけれども、令和10年度の統合は、まだ時期が早いということでした。その理由として、保護者、地域住民の間に、賛成と反対の意見があり、その意見が拮抗している。地域が衰退することへの不安がまだ解消されていないこと。金屋小学校が複式学級になる可能性が高くなって、保内小学校も学級数が著しく減少する令和13年ごろを目途に、統合を進めるのがいいのではないか。統合反対というわけではなく、まだ時期が早いので、保内小学校と金屋小学校が統合の準備、交流をしていく、子どもたち、保護者、地域がお互いに交流し合って、お互いの顔が

見える環境を育んでいくことを重視したい。そして金屋小学校のPTAさんのその考えに、地域の方も賛同しているという形でした。市教委からは、これまでも金屋の皆さんに、学校がなくなることで、地域の活気がなくなるのではないかということについて、またこれからお互いの学校を知る機会を設けて、金屋小学校の良さや保内小学校の良さを交流し合って、不安解消につなげていくことなど、そして学級数が学年2クラスを維持していきたいということについて、何度も説明してきましたが、金屋小学校の皆さんとしてはこのような結論でした。

また、市教委としては、次のステップの合同統合検討会に進んでいただいて、保内小の皆さんと一緒に話し合っただきたいとお願いしましたが、金屋小学校としては、令和10年度ではなく令和13年度に統合するのであれば、合同統合検討会に進んでもよいというようなお考えでした。その理由としては、合同統合検討会に進んでしまうと、やっぱり多数決で令和10年の統合の方に進んでいってしまうのではないかという不安、また保内小の方と同数でそこに集まるわけですから、多数決となったときに、金屋小学校PTAとしての希望というか、期待するものが必ずしも叶えられないという状況を考えると、まず一旦合同統合検討会には進まないという判断をして、またしかるべき時期に、合同統合検討会を今度は令和13年に向けてという形で、進められればということでした。そして市教委がこのお話を、保内の皆さんにお伝えして、保内の皆さんの理解が得られることを望んでおられました。

そこで、市教委としましては、保内小学校の皆さんに再びお集まりいただいて、保内小学校の皆さんのご意見を伺いたいと考えた次第です。

それでは何でも結構です。率直なご意見をお願いしたいと思います。

PTA会長さんの方から、率直なご意見いかがでしょうか。

保護者 私は、一番嫌なのは揉めることだなと。これから一緒に学校を作っていくという人達で、金屋さんには金屋さんの希望があって、完全にもう、まだ時期が早いっておっしゃっている金屋さんに対して、いやいや待ってくれっていうのはちょっとなんか言えないなっていうふうに思います。

全然、反対しているわけではなくて、もうちょっと待って欲しいということなのであれば、何かそれに合わせていく方が平和に、今後ずっと一つの小学校を作っていく上ではいいんじゃないかなあっていう思いと、ただ、統合できないと、保内小にもデメリットがあるわけじゃないですか。そこのフォローを何か市の方でしていただけないのかなっていうのはちょっと思います。例えば先生を加配でつけてもらうとか、何かできる対策をしていただきたいなっていうのが、私が希望するところなんです。

市教委 会長さんおっしゃられたように、資料2に、保内小学校も令和8年から1クラスが始まるんですけども、令和10年に3年生で2クラスだったのが1クラスになるし、金屋小学校さんは令和12年から複式学級の可能性が出てきます。ですので、保内小学校さんにしてみたら、1クラスになってしまう、そうするとクラス分けができないということで、ここら辺ですね。そうすると、学校現場の先生が1クラスの人数が多くなってきて大変なる、そういうことなんです。

教育長 それに対して市の教育委員会が教員を補充するとか、新たに加配するとかそういうことは残念ながらできません。介助員さんを増員するとか、非常勤講師を配置するとかそういうことは、可能性としてはありますが、教員という形で、増やすことはできないと思われまます。

保護者 非常勤の先生でもいた方が、先生は助かりますか。

教育長 助かると思います。

保護者 それはどうなったらあれですか。例えば保護者が署名するなりでっていうのじゃなく、誰が希望すれば就くのですか。

市教委 非常勤講師とか介助員さんは、市内全体のバランスを考えながら、教育委員会が配置しますけれども、それを保内小学校さんにこういう理由があるから特別に多くするとか、そういうことはなかなかしづらい、どこの学校も大変な状況です。だから10年度の統合を教育委員会は提案させていただいてるんです。初めて来年30人ですよね校長先生。

学校 32人です。でも1学級です。

教育長 1学級ですよ。それが初めて大人数の1学級できてしまいますので、まだ確定ではないですけどね。それから令和9年度の2年生、太枠囲みされてませんが、もちろん2年生30人も1学級です。問題は令和9年度の3年生、33人のところ。この子たち1年生のときは、16、17人程度の2学級編成だったんです。それが3年生になると、1学級になってしまいます。ということで、10年度11年度、どんどん学年1学級が増えてくるというのが、先生方にとって非常に容易でないのではないかなと思うんですが、ちょっと校長先生からもう一度その辺の苦労をお聞かせいただけませんか。

学校 はい。実質来年度新しい1年生が1学級になります。32名です。支援級在籍のお子さんもしゃるかもしれないけど、給食等は全部、1学級になるわけで、それを1年生担任が1人で見るということになります。うちの学校としては、ずっとなかったことなので、人的配置ということよりもハード面の問題が1つあって、1年生教室の1階が、実は狭いので、実際に32個の机を置くのをやってみようと思ってますけど、多分無理だろう。並ぶけれども、給食のときの配膳等は難しい。ということで、今、配膳は廊下で行ってますけど、運ぶ段階で1年生がぶつかって落とすだろうなっていうことを考えて、じゃあどこ使うかという、2階に上げるしかないなっていうことは今、ハード面の問題が1つあります。それから人的な問題で言うと、この場ですから申し上げますが、うちの学校実は新採用教員が、おおよそ2人入ってくる学校です。今年度だけ特別、1人も来ませんでした。理由は、定数減だったからです。教職員が3人減ったんです。来年はおそらく2人は入ってくるでしょう。それがうちの学校は村上市で一番子どもの数が多い学校なので、それが継続されてきています。そうすると3年間で6人の、1年目2年目3年目の教員が、いるわけです。学級数が減っていくってことは、その新採用3年目までの教員の担任する可能性が高まる。別に若い人が私は悪いと言ってるわけじゃないんだけど、どうしても経験不足のために、配慮が至らないということがあります。これは正直あって、もしかしら、保護者の中からそういうご経験なさった方いらっしゃるかもしれませんが、そういうときには当然管理職も含めて、お詫びをしたり相談したりするわけですけど、そういう場面が増える可能性が高まるということはお理解いただきたいと思います。言い方悪いですけど本当に若い先生によって助けられてるのはいっぱいあるけども、そういう苦労をお家の方に、或いは子どもたちに少しかける可能性があるということは、ご理解いただきたいと思います。以上です。

市教委 学校現場では、今おっしゃっていただいたような心配がある。ただしかし、教職員の配置、非常勤講師の配置は、なかなか難しいという現実がある。

保護者 その新任の先生が保内に来るといのは、どうにもならないことなのではないでしょうか。例えば、こういう状況になっているので、他の学校に振り分けていただくとか、そういうのはできないものですか。

教育長       なかなか難しいと思います。今、今年度現在で、学年2学級ある学校は保内小学校さんだけですので、来年、1つの学年が1学級になる可能性はありますけれども、市内小学校で一番大きな学校ですので、少なくとも1人、多ければ2人新採用を受け入れなければならないことになるかと思われま。

保護者       前回、先月、郡のPTA大会があって、金屋小の保護者の方と一緒にいる機会がありまして、その雑談の中ではあったんですけど、金屋小の保護者の方の意見として、やっぱりその少ない児童を1人の先生に見てもらえるっていうのは目が行き届くから、このままがいいっていう話をしました。

でも、来年度もそうですけど、うちの今一番下の子が令和11年に入学となると、結局多分、1学級になるわけですね、このままいくと。金屋小側は今人数が少ないから行き届くって言ったらかわいんですけど、目が行き届く学校生活ができると思うんですけど、保内小側が今度そういうのが難しくなってくるっていうのは、多分金屋小の保護者の方もわかってらっしゃると思うんですけど、なんだろう多分対立したいとか、そういうのは保内小の保護者は一切ないんですけど、やっぱり同じ気持ちで、子どものことはちゃんと考えているから。保内小側も結局そういう目の行き届く学校生活を送ってほしいから。なんていえばいいのか、金屋小の保護者の方の意見と一緒にじゃないですか。その目が行き届く学校生活にしたいというのは。たぶん、場所のこととかが金屋小の方々には問題あるのかなと思っているんです。まだ今場所がどこになるか決まっていってないからおっしゃってますけど、もし本当に保内小側に統合ってなったときに、通学の面もそうですし、そういう不安材料がいっぱいありすぎるから、うまくまとまてこないのかなと。だったら、もっと時間かけて話し合った方がいいんじゃないかなっていう意見なのかなっていうふうに私は思ったんですけど。なんていうか難しいですけど、やっぱり自分の子どもを預けるに当たって、自分の子どもがこれから卒業したとしても、やっぱり地域の子どものことなので、安全面もそうだし、安心して生活できる場を皆さん求めてると思うので、あんまりこう伸ばし伸ばしも良くないのかなと思うんですけど。保内小側の保護者の意見としても、そうやって行き届いた学校生活を送れることを願っている。先生たちのその負担ももちろんなんですけど、一番は子どもたちが安全に過ごせる環境だと思うので。そういうふうに思いました。

学運協       今のお話伺っていると、保内小学校としては、10年から統合した方がメリットとして大きいということですけども、ただ私が住民として心配してるのが、それも大事なんだけれども、今おっしゃる通り、子どもはもちろんそうだけれども、保護者、地域住民の感情の対立が残ってしまうと、これが一番心配なんです。夏の会議のときにも、アンケートの結果を受けると本当にはっきりしてました。ですので、この意識の違いを受けて、次の段階に進むことが本当は心配でした、あの夏の時。だけれども、それ超えなければどうしようもないことなので、で、お聞きしたいことが一つあるんですが、まず、私たちとしては、いずれにしても、10年であれ13年であれ、子どもたちが、或いは地域の人たちが感情の対立なくうまく統合に持っていければ、これが一番いいとまず私は思ってます。

ただその中であの意識の違いを、教育委員会の方々はどうなふうに受けとめてらっしゃったのかなっていうこと。それから、あれ以降今日まで、それに対して何か手だてを打ってこられたかなっていうこと。そして、これからさらに何かその意識を、対立なくいけるように、気持ちよく統合に向け、図っていけるようにということをしてくださるかな。あれを全部私らだけに投げられてはちょっと重いかなと思うので、できればそんなふうにとちょっと行政側からも助けて手だてを打っていただければありがたいと思うのです。

教育長       金屋小学校さんは、どうしても令和13年度でなければ駄目なんですかって、会議

の場で問いました。11年度じゃ駄目なんですか12年度じゃ駄目なんですか。駄目だと言われました。13年度じゃなきゃ駄目だと。だから金屋小学校さん側に、13年度よりも先にといいお考えは、おそらく持っていていただくことはできないと思っております。あとは保内小学校さん側が、わかった、仕方ないなと思ってくださるか、その他の考えを持たれるか。できる限り、教員の配置でも、先ほど新採用の話をしてましたけれども、大人数持っても大丈夫な先生配置できるようには、県の教育委員会にもお願いさせていただきます。だから、ご不安ばかりかけるわけではないように、それは最大限努力いたしますが、その統合に関しては、なかなか一致点を見つけるっていうのは難しいんじゃないかなと、今現在思っております。

区長会 先ほどの説明を聞いてちょっと、一つ聞きたいんですが、金屋小学校さんの方は令和13年度を統合するっていうのを、保内の皆さんが納得してもらわないと合同統合検討会には入らないということですか。

市教委 そうです。

区長会 じゃ、今ここで、保護者の皆さんが一番大事だと思うんだけど、令和13年度でOKという回答が出ないと、ここに書いてあるように、お互いの顔を見える関係を育んでお互いに話できないわけですよ。いや、そういう理解ですよ。いいですか。要は私は、10年度がいいとか11年度がいいとか言っているんじゃないくて、金屋さんの方から、提起された令和13年度OKしないと顔を見ながら、金屋地域と保内地域の皆さんが、情報交換できないってことですよ。今教育長さんの話では、11年度、12年度では駄目だっていうことでは、先進めないですよ。

保護者 そうですよ。

区長会 本来教育委員会が目指したのは、令和10年、それを令和7年からまず検討ということで3年ぐらいかけてやろうとしたわけですよ。ということは、13年からやろうとすると、10年ぐらいにもっと早くやってもいいんでしょうけど。それすぎると、お互いにいいよと言ったとしても、いろんな検討しなきゃいけないのもあるから、時間がちょっとね、切迫してきますよ。足りないという状態になりかねないですよ。一方で、6年なんていったら、多分、ほとんど皆さん、中学生になっちゃいますよ。1年生ぐらい少し残ってるのかな。そういったのも、それはそれで本当に検討できるのかなっていう、そんなこともちょっと気になったりしててね。

いや、その一方的に、令和13年でなきゃだめだと言われて、保内小の皆さんそれで納得して、一緒に考えましょうって言われるのも、これはちょっと辛いのかなとか、私は第三者的な、考えているのであれなんですけれども、大変だなというふうに思いますね。

区長会 今ほどお話しありましたけれども、統合するにはですね、やっぱりある程度の、時間を区切ってやらないと前には進まないと思う。それで賛成の方もいれば、反対の方もいる。統合となれば、これは当然出てくる。でも金屋小学校さんのアンケートを見ると、4割ちょっとが反対で、賛成の方も4割ちょっといるわけですよ。その中で着地点をどう見出すかということになると、やはりある程度、今から始めますと、最初は10年でいきましたけど、ここで1年ちょっと使ってますので、やはり11年とか12年、そういうふうな進めの方が私はいいいんじゃないかと思うんですけども。

先ほど教育長さんの方から、金屋さんは13年でないとだめだ、いうことであれば、さっきおっしゃったようにそこしか着地点が見いだせないとなってくると、ちょっと、だんだんとみんな遅くなっていくのかな、本当に13年で終わるのかな、そんな

気持ちにもなりますので、ある程度早めにやったほうがいいのかなと、個人的には思います。

区長会        なかなか今後進められないですね。皆さん納得して、令和13年度でいいっていうんであればそれでも大丈夫だろうけども、話し合いもできないですね。

教育長        だから金屋小学校さんにも、とりあえず金屋小学校さんのお考えはあるかもしれないけれども、合同統合検討会に進んで、一緒に保内の皆さんと話し合ってもらえませんかと言ったのですが、それは駄目だと。

区長会        そうすればどうすればいいんだという話ですよ。

区長会        皆さんあんまり静かなんで、私も一言しゃべらなきゃなと思ひまして。市報だったか何かに、ここだけでなく、朝日、村上も統合します、10年のときかな。大体皆さんもうそれは向こうの方は終わってるんですよ。それでこっちの方も10年でやっておったわけですよ。それがそれこそ、一部の金屋の方の意見でもって、13年に延ばす、そこで向こうの方と歩調を合わせなくてもそれはいいんですか。ある程度行政の力、やっぱり、最終的に保護者と言ってますけど、責任を全部保護者に持っていくっていう格好になってますんで、それはある程度もう行政で、決めていかないとうまくないんじゃないかなと思いますけども。

私が、何十年前ですけども、中学校で金屋と統合したわけです。大きくなってからそれこそ、友達もすぐつくれるっていうあれもなかったし、かえって小さいときの方がかえって子どもにとっては、馴染みが出てくるんでないかなと思います。それで今保育園だって、金屋の方とか、子どもたち行っているわけですから。そんなもう昔みたいに、離れてるっていう感じないですからね。もう今、全部一体ですから。だから、もう早めに皆さんと歩調を合わせて、統合されたらいいかなと思いますけど。

学運協        余計なことかもしれませんが、私、金屋小学校に8年間勤務したことがあります。ですので、金屋小学校の今の保護者がおそらく教え子。それで金屋小学校も、当時240人ぐらいで、2クラスでした。何年かいるうちに、1クラス33名かな、最初の1クラスの学級が。その子どもたちが入って、2年生になったときに私が担任をしました。32名で。他は、25、6人ぐらいの2クラスだったんですけども。それは、当時だから今の話違うんだけど、大変だったかっていうと、意外とそうでもなかったっていう。私はその時、経験3校目だったんですけども、だから、ベテランだったわけではないんです。けども、教員としては、そんなにその33が苦だったかっていうとそうでもなかったっていう覚えはあります。ただ時代が違うので、今と比較できないかもしれません。そういう部分もあるし、あと、例えば33名の子どもたちが3年生になって、2クラスだったのが1つになったときに、どなたかもう1人ふやせないのって言っても、向こうで決められてることなのでこれどうしようもないことかと思ひます。超法規的措置でない限り。だからその辺り考えると、結局その1クラスだった時にどう手当していくかっていう、バックアップ体制を学校がつくれるかどうかというあたりなので、例えばこんなふうな方法があるんだとか、或いはこういうふうにしていくんだっていうのも、追々学校側から聞かしてもらわないと、おそらく納得できないかなとは思ひただけですけども。もし校長先生に、先ほど不安な面、マイナスの面でおっしゃってくださったんですけども、プラス面でも話ししていただけるようであれば、ぜひお聞きしたいんですがいかがでしょうか。

学校        1学級のメリットって言えば、そうですね私の感覚ですけど、学級の人数が多いということは決してマイナス面だけじゃなくて、人間関係づくりがその中でしやすいというメリット。もちろん逆の見方もあります。あるけれど選択肢が増える、そ

ういうメリットは大きいと思う。それから学びの活気っていうか、授業の活気があります。そういう良さは、私自身担任としてたくさん感じてきたのでそれはあると思います。

ただ、裏を返せばもちろん、なんていうんだろう目が届きにくいというのはあるとは思いますが。若い人のさっきちょっと批判的な言い方ばかりでしたが、私がかもし担任になるんだったら、子どもたちは絶対若い先生を選びますよね。それは若さの魅力って当然あるので、そういう部分も勘案していただければと思います。

学運協           ありがとうございます。

教育長           私も、平成5, 6, 7, 8年と保内小学校勤めさせてもらったんですが、平成5, 6年は5, 6年生でした。平成7年度に1年生持ちました。その時、5月1日現在で41人いました。隣のクラスは40人でした。本当は3クラスになるはずだったんですけど、2クラス、どちらとも40人。当時、介助員とか非常勤講師とかは一切いません。すべて学級担任1人です。それでも子どもたちに力がついたかどうかわかりませんが、持てなかったとか、大きな問題が生じたということはありませんでした。私の股の下トンネルだとか言って、子どもは遊んだりしてたんですけど、私も楽しかったです。だから、教員一人ひとりがしっかりしてれば、いや私しっかりしてたわけじゃないですけど、何とかやれば絶対乗り切れるはずなんです。

現実的には、1クラスが通常学級で29人で、そこに特別支援学級在籍の子が10名いて、社会、理科、音楽、体育とか給食食べる時とか、一つの教室になるのですが、合わせて39人というところがあります。本当に大変な状況です。だから、現実に先生方がちゃんと持てるかとなると、私大丈夫ですっていうことは、お伝えできません。できるだけしっかりした先生を配置して、学校全体で助け合いながらやっていかなければならないんじゃないかなと。どちらかといえば心配の方が大きいです。

だからそういう状況にならないように、2学級になればいいな、できるだけそういう期間を長く保つことができればいいなということで、10年度統合を目指したんです。でも、金屋小学校さん、13年度でなければ駄目だということで、何とか保内小学校さんの皆さんに、金屋の思いを伝えてくれと、私たち言われてきて今日臨んでおりますので、それについてどう思われるのかなっていうのを。いろいろな意見があるかと思います。金屋の皆さんが、いっぱい強い願いを持ってるので、保内の願いっていうのはどういう願いなのか、出し合わないと決着がつかいせんので。私たち一番楽なのは、はい、わかりました、皆さんの意見を尊重させていただきます、保内小学校さんも了承してくれました。令和13年度の統合に向けて頑張っていきたいと思います。ようってなれば一番、いいんですけれども、よろしいでしょうか。

区長会           一方で、やっぱり、1クラスの数多くて大変だということ、3年も伸ばさなきゃいけないということに対して、いろいろ、教育長さん金屋の皆さんに説明されたとは思いますが、それに対しては向こうの反応は、いや、こちら側として例えば、同じような保内小側として出したとしたらね、やっぱりそれは大変なんだから、金屋もちょっと引いてくれないかというようなことを言ったとしてもそれはもう聞く耳もありませんとこういう感じなんですか。

市教委           金屋小の2回目の統合検討会で、今のお話を金屋小のPTAさんに投げかけてみたんですね。そうしたら、今の役員で検討した結果として、2回目の検討会で出された、令和13年っていうのを保内側に投げかけてみるよという結論を持ってきたので、保内小がそうならなかったとしたら、一旦この検討はストップすることになるというのが、金屋小のPTAさんの意見だったんです。それで、今回保内小のPTAの皆さんにその意向をお伝えして、ご意見を聞かせていただいているという次第

です。

区長会　　ちょっと、普通はこういう交渉っていうか折衝は、11年から12年からはありだと思うんですけども、一切それはもう駄目です、13年からしか考えてませんとと言われると。

保護者　　何かそこにこだわる理由が知りたいです。

区長会　　ふつうはそういう折衷案とかね、間を取るとかが普通ですよ。片方が100%折れて、片方が100%通すなんていうのは、交渉じゃないですよ。だと思ってしまうんですけどもね。

区長会　　13年の意味がわからない。

教育長　　金屋側の立場に立って言うと、令和12年度で複式学級が発生する可能性が強いんです。その時、2、3年生で、6と9で囲んでますけど、2年生と3年生の複式学級はしません。するとすれば3年生と4年生が組みます。9と17。これが複式になるんですよと言ったりもしたんですけど、令和13年に統合するとなると、その1年前の複式は、それこそ加配教員がついて解消されるんです。だから、12年度から複式になるんですけども、それは解消できるんで、13年度からならいいですよというのが、金屋小学校さんの、一番の思いなんだと思います。複式できないうちは統合なんかできないという、思いが強いと思います。

保護者　　保内小が1学級になるよってというのは、あんまり考えてくれない。

教育長　　考えてないと思います。

保護者　　そういうことですよ。

市教委　　教育委員会としても、金屋、保内の地域にこだわらず、荒川地区という全体を見て、統合を進めていくことが必要なんじゃないかっていうことは、説明申し上げました。

市教委　　個人的な受けとめなんですけれども、金屋小の保護者アンケートの結果で、賛成が40%位、反対が42%位の割合で、反対の方が若干多い形で拮抗している。このアンケート結果がある中で、今の役員さんが落としどころとして考えられるとすれば、市教委の提案したR10年度の統合ではなくて、その反対者の人達にも納得してもらえるとすれば、複式が発生する、そのタイミングでの統合ならやむを得ないというふうに、その反対の人たちにも納得してもらえるのではないかと、金屋小の役員さんは考えたんだと思うんですよ。これ自分の受けとめですけど、そんなふうに、思っています。

区長会　　ただやっぱり、金屋さんと保内と一緒に話をする必要があるんじゃないでしょうか。これ一方一方で話をしてもらちが明かないと思うんですよ。みんなで歩み寄ろうという、いわゆる妥協案みたいのもあるかと思うんですよ。こうやって、片一方ごとに言っても、意見が通らないですよ。逆に13年は駄目だと言われて、こっちは13年で納得しますかって言われて、こちらだけで話していると、なかなかそれもおかしいと思いますし。どんなものなんでしょうかね。令和13年度ありきじゃなくて、両方の皆さんと、それこそ顔を見ながら、話し合いするのも大切なんじゃないでしょうか。

教育長 今度、1月30日の荒川地区の区長会でまた説明させていただくんですけど、その時、全部の区長さんがおられるんで、この合同検討会とかっていう前に、区長さん方にどうお考えなのか。

区長会 いや区長会もね、学校は、やはり保護者が児童のこと考えてもらわなければいけないと思うんですよね。地域の区長だからって、ああだこうだなんていう筋合いじゃないと思うんですよね。説明はしてくれて大いに結構ですけども。やっぱり一番なのは子どものことを考える保護者なんだと思うんですよね。さっき区長さんがおっしゃったように、13年といたら誰もいないですもんね。また新しい保護者になりますよね。そこでまた新たに、それこそ揉めるような形になれば。それもいつになるかわかりませんよね。

区長会 申しわけない。さっき言ったように、保内は保内、金屋は金屋でやってきましたけれども、これはもう、いつまでやったって決まるわけないんですよ。だからある程度まで両方は聞いて、とにかくもう行政でもって、もうちゃんと決めてしまう。その方が私は、きっちりしていいのではないかと思う。児童だって今度はバスの運行から今度、いろんな計画しなきゃいけないし、そういうのも出てくるものですからね。ただ統合だけの話でなくて、いろんなことを考えていなきゃいけない。早めにそれこそ決定打をうつという、そんな方向でいいかと私は思いますけども。

区長会 金屋の皆さんは、その13年度からということを保内側は了解しなきゃ一緒に相談もしませんと、こうおっしゃっているんだという理解でいいいでしたよね。

市教委 了解していただければ、次の合同検討会に進むと。

区長会 了解すればですよ。

教育長 ただ、合同検討会で多数決で決めるとか、そういう乱暴なことをしなければ、合同検討会で話し合った結果、やっぱり意見合わなかったということであれば、無理やり統合するという方向でなければ話し合ってもいいということは言っていました。だから、そういうふうにならなければ、そういう約束のもとで合同検討会を持つということは可能なんじゃないかなとは思いますが。

区長会 でも、一番のベースとなるところは、その、クラスをどうするかというところが一番なわけですよ。合同検討会は校舎をどこにするかとか、そういう話はあるかもしれないけど、一番肝心なところは、意見が合わなきゃ、一緒に顔を合わせて終わり。まあ、やってみればちょっとお互いに理解が進む可能性はあるかもしれないけどもね。やっぱりさきほどおっしゃったようにやっぱりある程度行政でちょっと、リードしてもらったらいいいのかななんて思いますね。

保護者 下の子が、ちょうどその令和13年に小学校に入るんですけど。この前、夏の集まりに参加させてもらって、金屋と保内の統合には特に賛成も反対もないんですけど、この人数を見る限り、ここの数字の上では出ていく可能性っていうのは入っていないわけじゃないか。それプラス、よそから呼び込もうっていうような人数も入っていないわけ。例えば金屋と保内が統合したとして、また何年か後に、また人数が少なくなったから、同じようにまた統合しないといけなくなるとなると、話がまた出てくるようなことがあると思うんですけど。この13年までに、例えば、教育委員会さんとかで、よそから呼び込もうっていうような、なんかこう、売りみたいなのを考える

っていうのはないんでしょうか。人数をもっと増やそうってような考え。

教育長 市あげての移住とか、そういう取り組みになってくるんで、なかなか教育委員会が音頭をとって、そういうふうに動くっていうのは、難しいんですけども、金屋の皆さんもそういう考えは、おっしゃってました。だから、本当に人口、若い世帯が入ってくればいいなとは思っております。市の方としてもそういう取り組みをしていくんだと思いますけれど、その成果が上がるのかどうかってのは、なかなか、難しいのではないかと思います。

保護者 現実味がないんですけど、どこどこ大学附属小学校みたいなのか、よそから入っていきないうような学校を作るとか、その大学付属はないと思うんですけど、あと何かこう何かに特化していくみたいな、そういうことを考えていただければなっていう思いはあって。高校も村上の方に行こうじゃなくて、みんな新発田、新潟の方に行こうっていうふうにちょっと考えが変わってきてるところは、多かったでするので、言葉悪いですけど村上廃れていくんじゃないかっていう不安があって、ちょっとその辺も考慮していただければと思います。

教育長 はい。市の方に伝えていきます。

市教委 金屋の皆さんは13年に統合したいっておっしゃってるわけですけども、保内の皆さんは、率直に、金屋の皆さんがそう考えるんだったら、いいですよというようなお気持ちですか。

保護者 はい。私、教員なのですが、金屋小さんの考えも読ませてもらいました。今日の会議も見ている限り、金屋さんがやっぱり令和13年度じゃないと統合しないっていう話なので、もうそれは受け入れざるを得ないんじゃないかなと思っています。ここでどうこう言っても何も変わらないのかなと思っています。

そして、保内小の皆さんからして、はたして、本当に今統合する必要性を感じてるのかなっていうのも、ちょっと疑問に思っていました。今話題になった、先生の負担として、30人を超える学級が苦しいってのもあるとは思うんですけど、これってどこの学校でも起こり得ることで、たまたま今保内小学校そのタイミングなんですよね。じゃあ30人ぐらいになったときに、どこの学校も統合するのかっていうと、そういうわけではないので、ただ単純に今この時期に、保内小はそれがあっている。で、統合するっていうのが、果たして本当に適切なのかっていうのは、ちょっとわからないところがあります。

そして、金屋小さんからすると、当然少ない人数で見ている今の現状の方がいいかなと思っていますからこそ、令和13年を求めてると思うんで。ここでどうこう言うのではなく、13にするかしないかだけここで決めればいいのかと思っています。

それで、個人の考えは、私はそこまで必要感を感じていません。ですので、金屋小さんが言ったように、13年度を受け入れておかないと最初の方が言われたようにお互いに感情がぶつかりあって、「統合しなきゃよかったじゃん」となってしまう方が、子どもにとって悪影響かなと感じています。ですので、繰り返しになりますが個人的には13年でいいかなと思っています。

保護者 13年は、今の1年生が卒業したら、ちょうどって感じですよ。でも、いつ統合しても途中で入らなきゃいけない子どもたちはいるわけで、13年だから、すっきり統合なるかと言えば、そうじゃないし。衰退することの不安はあるけれど、金屋地域は、小学校がなくなったから衰退というわけじゃないかなと、立派なお祭りだってあるし、と個人的には思うんです。ただ、朝の子どもたちの登校の姿とか、地域の活力になっているというのもあったりするのかな、それがなくなるのが寂しいのかなというのもちょっと思うし。

でも、急に来年統合しましょうって言ってるわけではない、それなりの猶予は設けてもらったの10年という提案だったと思うので、私は10年に統合でもよかったんじゃないかなって個人的には思うんですけど。金屋さんが13年がいいと言うんだったら、じゃあそれでいいんじゃないでしょうかと思います。ただ、うちの子どもは13年にはいないから、想像しにくいというか、そういう気はします。みんなが合意するという事はないと思う。

市教委 金屋の皆さんが、そうおっしゃるのであれば、そうするしかないかなという感じでしょうかね。

市教委 実際今もバス通学してるところもありますよね。それが保内に行くとするれば、個人的には、デメリットは感じないですけど。

保護者 金屋の方は13年がいいんですよ。

市教委 統合自体、やむを得ない、いつかはしないといけない、でも、統合したら、たぶん校舎は保内小学校になる、金屋小学校が地域からなくなる、それがなくなったら、地域が衰退していくな、でも、やっぱり統合は必要なんだよな、でもいやだなんていう。

保護者 私の子も13年になると卒業していなくなるので、あまり実感がないんですけども、ただ、他の子どもたちの、荒川地域の子どもたちのことを考えて、保内小学校の6年間1クラスが発生してしまうので、金屋小と同じような、行き届いた教育というんですかね、同じように受けさせてあげたいなって思いますので、13年までの間、しっかりついていってもらいたいなと思いますね。

市教委 学校現場も2クラスが1クラスになって、やっぱり大変になるというのもありますし、現実的に校舎は保内の方が新しい、金屋の方が年数が経っている、なので、このままいくのも、いずれはそれもできなくなる、だから、総合したら、校舎が保内の方になるのはわかっている、わかっているから統合しなきゃいけない、でも・・・いうところなんだと思うんですけども。市教委として見れば、校舎の施設改修の問題もできますので、荒川地区には1つの学校にしていきたいという考えも計画の中にはあります。それだけではないですけども。

教育長 13年度になると、1年生保内と金屋を足しても、このままだと34人しかいませんので、これおそらく、特別支援学級在籍する子もこの中におられると思うんで、13年度になってしまうと学年1学級ですね。そういう状況にはなるんですが、それでも金屋と保内を一緒にすると、他の学年で何とか2学級維持できる、だから保内側にもメリットがあるとか、だから13年度統合でも致し方ないなっていうお考えを持っていただくのか、いや12年度まで、学年1学級、保内小学校さんちゃんと乗り切っていけば、13年度以降も、人数の多いところは、乗り切っていけるとか、先ほど言われたように、統合しなくても、10年度のことだと思うんですけど、しなくてもいいんじゃないかとか、そういう意見も持つことができますよね。だからいろんな考えを出していただければいいなと思うんですが。要は13年度でいいということ認めていただくのか。いや、統合しなくてもいいんじゃないかとお考えもあるのかもしれないし。

市教委 私も子どもを持つ中なので、やっぱり一番は子どもの勉強するとか、生活する環境、子どもにとって、学校っていうのは相当大きい存在で、生活の時間の、大きな部分を通っているところで、お家の方は同じ気持ちなんだと思うんです。だからそ

の統合検討会っていうとやっぱり身構えてしまう。ざっくばらんで実際に顔を見ながら、ちょっと座談会のような感じで和やかな感じで、こういう感じじゃなくてね、もっとこう和やかな感じでお話し合いとかしてみるのも一つの手かなとは。

区長会       それはでも、先ほどからのお話だと、13年度をうんと言わなきゃ、そういう話には入りませんと言ってるわけでしょ。

市教委       統合検討会とかそうではなくて。

区長会       検討会にでなくてもいいですけど。

市教委       座談会ならいけるんですよね。

教育長       なんでもいいですけど、13年度っていうのにこだわるのかどうか。

市教委       若干話してみたいと思いませんか。どういう気持ちでなんか、こだわってますとか。

区長会       いや、それは多分、聞いてみたいという考えはあるでしょうね。金屋の皆さんが、少人数で目が行き届くような教育を受けたいとおっしゃっていらっしゃるんだから、逆に保内の方は、30人で1人クラスですと、それどうしてくれるんですかって聞いてみたいでしょう。どう思いますかと。いや、私なら聞くけどね。あなたがた金屋のことばかり考えているけど、保内のことはどう思うんですかと。たぶん喧嘩になるだろうけれど。いや、そういう感じで話し合いができればいいですけどね。そう思いますよ。

保護者       13年度も統合しないで、保内も金屋も、そのまま継続していくっていう可能性もありますか。13年度に統合しても、保内は1クラスなんですよ。

市教委       残念ながら、統合したとしても、人数の推移は、また1クラスになっていくことになる。

教育長       どんどんどんどん進むと、1クラスにはなってくると思います。14年度、15年度、16年度。だから金屋の人は、教育委員会が学年2学級を維持するために、2つの学校が一緒になればいいと言ってるけれども13年度にはそうならないじゃないかと。もうすでに1学級になってしまう学年も出てくるだろうということも言うんですよ。

保護者       小川小学校と朝日みどり小学校はすんなり決定ですか。他の地区の統合はすんなりいったんですか。

市教委       すんなりっていうことではないんですけども。朝日みどり小学校と、小川小学校については、朝日みどり小側がもうすでに複式学級が発生してまして、それをできるだけ早い段階で解消して欲しいという願いがありますので、そこを小川小の皆さんも、理解していただいて、令和9年度に統合という形で進みました。ただ、あそこには朝日さくら小学校という、もう1個の学校がちょっと途中で絡んだこともあって、検討の時間は結構かかってしまったんですけども、一応こちらの予定通り、令和9年の4月に統合という形で今進んでいます。

教育長       岩船中学校とか神林中学校は、令和9年度を目指してたんですが、1年遅らせてほしいということで、今それで進んでおります。村上第一中学校と村上東中学校は予

定通り、10年度を目指して進んでいます。

教育長 やっぱり、金屋の皆さんと直接保護者の皆さん同士でいいのかわからないんですけど、話し合う機会を設けたほうがいいでしょうか。

保護者 P T Aの役員同士。

教育長 役員同士。

保護者 本部役員、会長、副会長と金屋小の会長、副会長ですか。じゃなくて金屋と保内の人で集まる。

教育長 いや、どういうメンバーでも結構なんですけど、金屋の方たちは本当に強い関心持ってますので、来てくださって言うと、皆さんこられると思います。保内小学校の皆さんの統合に関する率直な意見が聞きたいんです。私、温度差があると思います。金屋の皆さん本当にものすごく強い学校がなくなるということに対して、大きな危機感を持ってます。保内小学校には、それが多分金屋の方が来るから、というお気持ちもあるのかもしれませんが、あまり危機感私は感じられません。そのあたりをちょっと。

保護者 多分統合した方がメリットがあるから、しない方じゃなくってする方にメリットがあるからですね。

保護者 もちろんメリットもあると思うんですけども、保内小の保護者も今まで伝統的なメロディーズとかもありますし、そういうのがどうなるかとかなっているから、そういった別にその保内小に来るから熱が低いとか、そういうのはないと思います。やっぱり、金屋小の青空教室と同じような感じで、保内小も私達の前からずっとそのメロディーズやっていて、そういう伝統的なものがあるわけだから、それ言われちゃうと、ちょっと何か保内小は、金屋小がこっちに来るからあぐらかいてるみたいな感じに聞こえちゃうんですけど。でも誰もそんなことは考えてないですよという否定がしなかつただけです。

教育長 いや私の失言でした。

区長会 仮に統合が令和13年の統合となっても、これからまだひと揉め、ふた揉めあるわけだから。名前をどうするだとか、校舎をどっちにするだとか、必ずどっかでぶつかってくる。

市教委 皆さん、順番にお願いしてもいいでしょうか。後ろの方。

保護者 初めてきたので。うちの子が統合前に卒業してしまうので、このままどうなるのか、ちょっと現実味がないですし、今後上がってくる親御さんたちはどう思うのかとか、なんかここだけで決めてしまっているのかというのはあります。

市教委 ありがとうございます。それでは、保育園の保護者の方。

保護者 うちの子は、来年、保内小学校入学させていただくんですけども、やっぱり率直な印象として、そもそもまずその令和10年に統合される理由が、正直あまり見えていない。データの要因とか、さっきおっしゃられた保護者の環境的な要因とかいろいろあると思うんですけど。その令和10年にやらないといけないんだよ、本当にやりたいんだよっていう理由が多分皆さんははっきり理解されてないのかなという

印象なのが、まず1点。

令和10年から13年に先延ばしって言い方はいい言い方じゃないかもしれないですけども、なったときのメリットデメリットとか、我々が検討する上での、ちょっと材料が少ないなっていう、生意気ながらの意見です。村上市の教育委員会の方々も、その子どものことを考えて、ここにも書いてありますけど、教育の質の向上を目指して、の、多分ご意見だと思うんで、それは保護者の皆さんもそう考えていると思いますけれども、何かその検討する上で、もう少しこちら考える材料があると意見も出てくると思います。私自身の意見としては、10年だろうが11年だろうが12年だろうが、いつでも全然大丈夫な気持ちでいます。ただその、この年にやらなきゃいけないんだよ、はっきりした理由があればという考えです。

教育長 当初は令和9年度にやりたかったんです。最初の案はそういう案を出させてもらってありました。そしたら金屋さんがそれじゃあまりにも唐突だと。ということで、市全体として令和10年度、金屋と保内は統合を目指したんです。その理由ですけど、例えば、10年度の1年生保内が34人です。するとおそらく1学級になります。これに金屋の9人を合わせると43人になるので、2学級にできるんです。するとその10年度の3年生4年生も全部2学級にできるんです。それがメリットです。だからできるだけ早く統合すれば、今の保内小学校の2学級を維持できるというのが教育委員会の一番の願いです。ただそれは金屋小学校さんは受け入れられませんよと。そのために統合するなんていうことには理解を示していただけませんでしたので。

保護者 すみません、それって多分、保内小学校の人数的なものが、統合したら2学級できるよということ。多分金屋さんが言ってるのは、金屋さんがその複式学級になるタイミングで、令和12年ですね、だからそれ以降でいいんじゃないかという考えなんで。その児童数に対して先生を一人つけるとか、今まで2学級だったから、それを保ちたいと。ただそういうワードは、先ほどから結構出てるんですけど、何かその理由がいまいちわからないんです。

市教委 保護者の立場から言わせていただくと、2学級だと、子どもがクラス替えができるんです。やはり子ども同士、子どもは子どもの中で育つんですが、さっき先生もおっしゃったけど、学年に2人先生がいらっしやると、もうベテランの先生と若い先生ペアだと、それぞれのよさがあって、例えば何か自分の子で心配があったとき、例えばクラスの先生に相談して、なかなかその若い先生と話が通じなかったときに、もう1人の学年主任の先生にですね、ちょっと助けていただきたいことがあるんですけど、気軽に相談することもありますし、子どもに何かトラブルがあった時に、やっぱりクラスが、自由に、クラス替えがあるっていう環境が、お家の人だけじゃなくて子どもたちの気持ちの面でも、すごく楽になるときがあるのです。そういうところがあって、保内にだけメリットがあるから、保内が1学級になるから、どうしても金屋の人に来てくださいっていうわけではなくて、金屋の方にももちろんメリットがあって、人数がたくさんで2クラスになるといいなっていうところがあります。保護者の目から見ると。

保護者 いやそういう説明がすごい納得ができます。そうなんですって話を聞いて理解できました。

市教委 保育園の保護者の方、お願いできますか。

保護者 あまり統合するという実感がなくて、たぶん令和13年度に統合するってなったら、うちの子はたぶんいないですけど、その時に統合するよりは令和10年度かちょっと早めに統合した方がいいのかなと思います。スクールバスとか校舎を保内小にするのかとか金屋小にするのかっていうのはまだ決まっていないのでしょうか。そのあ

たりがよくわからなくて、それを決めてもらった方が、いいのかなと思ったりもします。

教育長 金屋小学校の皆さんも同じようなこと、学校はどうせ保内小学校使うんでしょ、教育委員会そう考えてるんでしょ、だったらそう言ってくださいよと言われました。だから、それはあくまでも合同検討会で話し合うことなのでっていう前置きをしたんですが、校舎の新しさ、教室数の多さ、それから学校共同調理場がある。そういう理由で、これまでいろんな学校の統合でそういう校舎の方を使ってきましたよっていうことは、金屋の皆さんにお伝えしました。なので、やはり金屋小学校は使われないんだなっていうことで、できるだけ長く学校残したいという金屋の思いが、あるんです。言われることはよくわかります。

市教委 よろしいですかね。それでは次の方お願いいたします。

保護者 このまま行っても平行線なだけだと思うので、13年でいいんじゃないかなっていう風に個人的には思うんですけど。あと、皆さん多数決じゃないですけど、多分1回切らないと、もう時間だけが過ぎていくだけなので、多数決で1回決を取るっていうのはいかがでしょうか。乱暴かもしれませんが。

保護者 私はもともと村上の住人じゃないので、仕事でこっち来ていろいろあって、保内に通っていただけなので。個人的な意見を言えば、学校は、義務教育だから受けているっていうとこだし、これからオンラインとかもあるから、学校にこだわらない、地域にこだわらない、学校さえ形であれば通信だろうと通級だろうとどこでもいいですし、さっきクラス替えがメリットだというけれど、わたしは処遇上、クラス替えに馴染まない子達を受ける立場の方なので、必ずしもメリットがあるわけではないから、金屋さんがそういうのであれば、学校が悪いので、このままでもいいのかなとは思う。

教育長 このままっていうのは統合しなくてもいいと。

保護者 統合しないで。無理に統合したいというのは、どちらかというとその市の管理の方の都合で統合しているところになってくると思うので。子どもたちっていうところであれば、通える学校があればそれでいいのかなと。

市教委 ありがとうございます。次の方お願いいたします。

保護者 今の話聞いてて、金屋さんの13年というのを1回のもので、会うっていうのもいいのかなと思っています。そこで12年はどうですかっていう話はできないでしょうかね。ちょっとそういうふうに思いました。以上です。

市教委 ありがとうございます。次の方お願いいたします。

保護者 金屋小学校は令和13年で、話合いの土俵に乗るっていうことで、ま、我慢じゃないんですけど、苦渋の決断でそこに載ったということで、13年の方向で、保内小も同じ土俵に乗る、それでいいと思うんですけど、保内小の心配事としては、1クラスになることで、子どもたちに先生の目が行き届かないっていうところが一番心配点であれば、教育委員会の方で、こう先生はやっぱり加配は付けられないって最初から断言されてるんですけど、金屋さんも頑張ってるので、行政の方ももうちょっと頑張るって加配をつけるという、最初から無理って言わないで、行政の方も努力するっていうことで、この10年から13年の間の保内小の保護者側としての

心配事が1つ減って、土俵に乗りやすいのかなって感じました。何か、今の話を聞いてると、どうしてもその金屋小対保内小みたいな感じで、突きつけられるような感じがするんですけど、そこは取りまとめてくださってる教育委員会側の方の、私達も頑張るので保内小のフォローをしっかりとしていくので、13年に向けて一緒に頑張りましょうみたいな音頭を取る必要はちょっとあるのかなというふうに感じました。なので最初からちょっと加配が、1クラスになるとつけられませんっていう宣言はやめて、もうちょっとこう、教育委員会さんの都合もいろいろあると思うし、先生の人数とか、皆さん苦勞されてる部分はあると思うんですけど、私もそういうところは、やっぱり全然わからないので、ちょっと簡単な話になってしまっただけで申し訳ないんですけど、でもそういったところの歩み寄りを、教育委員委員会さんの中でも、案として、加配を1クラスになって、この10年から13年の間も1クラスでやっていく中で、子どもたちのフォローをする体制づくりを今から考えていただくと、保内小としても納得いくのかなっていうふうな感じはしました。なのでそこはお願いしたいなと思います。以上です。

教育長 お気持ちはよくわかります。わかりますけれども、何度も同じ繰り返しになりますが、そういう大人数の学級ができるというのは、保内小学校さんだけじゃないんです。村上小も、村上南小も、瀬波小も、この村上市だけを考えてもそうですし、県内多くの学校で、先ほど述べられたように子どもが減っていく中で、過渡期中で、こういう状況が生じてしまうんです。そこに県の教育委員会が全部大変だ、かわいそうだと言って、人を配置なんか決してしてくれません。私も県の教育委員会にいたからわかるんですけど、残念ながらできません。県ができないものを村上市が、市の教育委員会が人を配置するっていうことも、できません。予算的に、それは県の役目だろうと。何で県ができないことを市がやらなければ駄目なんだからってなってくるんです。で、辛うじてできるのは先ほどから述べているように、介助員さんとかの非常勤講師さんとかの加減は市の教育委員会に権限がありますから、できるとすれば、そういうところなので、その面は、何とかしていかなければならないという気持ちはあります。本当に、期待にこたえられるようなこと言えなくて申し訳ありません。

保護者 ここまでできますっていうのは、言葉だけじゃなくて、明確にこういうふうに介助員さんをちょっと配置したいと思いますみたいなところは、みんなが共有できるように可視化するようなことは、していただけるといいかなと思うんですけど。

市教委 詳しい人数ではないですが、今、小学校でいうと、市全体で50何人の介助員さんをつけさせていただいて、学校ごとに、介助員さんが必要な児童の人数がいます。それに対して、何人配置するというような感じになりますので、その人数の配置については、私どももこれからも同水準を維持していくように努力させてもらいたい、ということしか今言えないんですけども。クラス数、児童数から、これだけの人数は配置できますというのを見る化というようなのは可能ですけども、このような体制を維持していきたいというふうな形はお示しできるかと思います。

保護者 ありがとうございます。

市教委 それに限らず、県の教員の他に私たち市で手当してるのは、介助員、非常勤講師も市で対応している部分もありますし、あと、保内小さんですと、教頭先生をお手伝いするような方をつけさせていただいたりですとか、先生方のいろいろとサポートする、テストの丸付けをする方とか、少しずつ担任としては貼り付けられないまでも、少しずつの後方支援というかは、させていただいている形です。

教育長        それでは、お話をまとめさせてもらいますけれども、保護者の皆さんは、先ほど言われたように、PTA役員、どの対象まで含めるかわかりませんが、役員同士で、金屋小学校と保内小学校さんで、話し合う機会を設ける、そしてお互い決めるということではなく、意見交換をする、懇談をする、そして区長会様の方は、1月30日に、また、ご報告させていただきますので、意見交換する、その後、両者を合わせて、どうするか決めさせていただきませんか。そこに保育園の保護者の皆さん、役員の皆さんも入っていただくかどうかまではちょっと、私判断できませんけど。

市教委        保育園の役員さんも是非入っていただいて。朝日の小学校の統合でも検討会に、次の世代の方のご意見聞きたいという、小学校の親御さんもそんな感じでしたし、必ず次の世代の方も加わっていただいておりますので、それをお願いしたいと思います。

保護者        ちょっと今ここで話してたんですけど、私役員ですけど、その大多数の保護者の方の意見も聞きたいというか、こんな状況ですけどというのを知りたい。今、統合しなくてもいいんじゃないか、13年でいいんじゃないか、もっと計画通りにとか、いろんな意見がちょっとあると思うので。確認をしてからじゃないと。

保護者        金屋小学校さんもいろいろな意見を聞いたうえで、役員の方がそういう意見を出してくださってると思うので、保内小側も人数は多いですけど、確かにだけどその保内小側の保護者のご意見も、まとめさせていただいた上で、そういう話し合いができた方がスムーズに進むんじゃないかと思いました。

教育長        役員さんだけに責任負わせられませんのでね。

保護者        多分その最初のアンケートとかもそうなんですけど、賛成反対の間にどちらとも言えないという意見がある中で、私もどちらとも言えないっていう意見で、やっぱり、想像もそうですけど、やっぱりピンときてない方も多かったと思うんです。何だろう、統合することによってこういうことがありますデメリットがありますもそうなんですけど、一度やっぱり皆さんの意見をまとめてから、そういう場に、私たちも。

教育長        私達説明に行かなければ駄目だっていうことになりますか。

保護者        そういうわけではなくて。可能ですか。

教育長        1回4月の説明会のときに、金屋小さんの保護者の皆さんは、ほぼ来られたんです。保内小学校さんあまり来られてなかったと。

保護者        あまり来てなかったんですよね。やっぱり理由としては、子どもを預ける場所がないとか、そういうのが多かったんです。結局そのPTAの役員やってる人でも出たかったけど、結局学童に預けられなかった、その間、子どもたちはどうしてたらいいんでしょうという方の意見があったので。だから出たくても出れない人がいたというのが現状ではあるんですけど。なんかその、まだ説明もちゃんとできてない中での、その時って、保護者の方の考えもあったと思うんですけど。1回ちょっと、まとめてからの方がいいんじゃないかと思うんですけど。

教育長        私たちも説明に来いって言われれば幾らでも行きますけれども、それは大丈夫です。

- 保護者 小学校世代のメンバーがごそっと変わってから、統合の話になってくるんだと、保育園の保護者さんの方がメインになってくるのではないかと思うんですけど、そこはまた違う話になるんでしょうかね。
- 保護者 どうすることが一番いいんでしょう。
- 市教委 ま、変な話ですけど、どこかの学年ではあたってしまうというのはありますよね。
- 保護者 金屋小学校も後にいなくなる保護者の方でもそういう話をしてるわけだからっていう。
- 区長会 それはやっぱり今いる人の責任で、やっていくしかないと思いますよ。6年後にいなくなるんだから、その時に当事者の人に入ってもらってと言っても、難しいんだよな。今いる人の責任でやっていくしかないと思いますがね。
- 区長会 それしかないよね。将来の子どもたちと学校を考えていただいて。
- 保護者 であればなんですけど、やっぱりその金屋小の方とお話するに当たって、中途半端なその意見のまま言ってしまったらおかしいんですけど、まとめてからやっぱり話し合いには、行かせていただきたいので。それ、校長先生、教頭先生とも相談した上にはあるんですけど、一旦保護者の皆さんの意見を聞いてからそういう場の方がいいのではないかと私は思いました。
- 教育長 校長先生、PTAの方そういう時間を設けたいと。
- 学校 人を集めるということだとすれば、1月の参観日、1月の終わりですけど。そうじゃなければフォーム的な形でアンケートとか。どっちかだと思います。なんかこう、おおよその方向性を見いだしたいっていったらやっぱ集まった方がいいでしょうし、それも集まる集まらない保護者次第になっちゃいますけど、アンケートだと結局1回目にとったのと同じになる。
- 教育長 集まる機会を作っていただいて、そこに必要とあらば説明に伺いますので、何とか方向性を探っていただけませんか。お願いいたします。
- 区長会 1つお願いなんですけども、先ほどから教育長初め皆さん、メリットデメリットというお話を大分出されてましたけど、それをちょっと何かこう、まとめていただけませんか。それで提供したら、説明される方も随分、楽だというか、ただ言葉でずっと聞いたので、なるほどそれは一理あるなと聞きましたけれども、ちょっとまとめていただけませんか。
- 教育長 はい。承知しました。
- 区長会 区長会の方は、保護者の選択で異議ございませんので。
- 教育長 報告だけはさせていただきます。
- 区長会 説明会の方では、どうぞよろしく申し上げます。

市教委        はいそれでは、一旦保内小学校さんの方でもんでもらって、その際には、市教委も伺いますので意見をまとめていただくのをお願いしたいと思います。

               では、今日の検討会はこれで終了させていただきたいと思います。皆様大変お疲れ様でした。

以上